

Q1. 以下の項目をご回答ください。

会社名 *

氏名 *

メールアドレス *

(E-mail)

Q2.

戸建住宅の改修ZEH化（断熱等性能等級5、20%省エネ、太陽光パネルは設置・未設置のどちらでも可）に対して以下のような課題があると認識しています。

貴社では、どのように課題を乗り越えて改修ZEH化を進められたのか、具体的な事例を一つ以上挙げて、下記をご回答ください。

（改修ZEH化の実績がない場合は〔無し〕とご回答ください。複数の改修ZEH化事例がある場合は、代表的なものを3つまでご回答ください。）

<課題認識>

改修ZEH化は技術的には可能ですが、対象住宅の条件や消費者事情によっては、コストとそれに見合う効果において障壁となっていると認識しています（改修ZEHのブランディングが現時点では高くはないことも含む）。

例えば築年数が古い場合、改修ZEH化に加えて柱の強化等が必要となり、費用がかさむ場合があります。また、住宅全体を断熱化するに際して改修期間中の仮住まいを確保することや、家族人数の変化・住宅内での使用空間の減少を伴う改修の際には住宅全体を断熱化する必要性が小さいこと等がハードルと想定されます。

<ご回答いただきたいこと>

改修ZEH化を進める上で、どのような住宅を対象に、どのような施策を実施することが有効なのか検討したく、

以下の要素を含めながら、貴社における改修ZEH化事例をご回答ください。

事例① 住宅条件 *

以下の要素を含めてご記載ください：地域区分（寒冷地、温暖地）、住宅の築年数、改修ZEH化を行った消費者の家族構成・年代、改修のきっかけ

0文字

事例① 取組内容 *

以下の要素を含めてご回答ください：改修範囲・内容（断熱材、窓、冷暖房、照明、給湯等）、改修後の環境性能（断熱性能、BEI）、ZEH水準の改修を行った理由（可能であれば、補助金等の金銭的支援以外の理由）、ZEH水準の改修を消費者に勧めるために貴社が取り組んだこと

0文字

事例② 住宅条件

以下の要素を含めてご記載ください：地域区分（寒冷地／温暖地）、住宅の築年数、改修ZEH化を行った消費者の家族構成・年代、改修のきっかけ

0文字

事例② 取組内容

以下の要素を含めてご回答ください：改修範囲・内容（断熱材、窓、冷暖房、照明、給湯等）、改修後の環境性能（断熱性能、BEI）、ZEH水準の改修を行った理由（可能であれば、補助金等の金銭的支援以外の理由）、ZEH水準の改修を消費者に勧めるために貴社が取り組んだこと

0文字

事例③ 住宅条件

以下の要素を含めてご記載ください：地域区分（寒冷地／温暖地）、住宅の築年数、改修ZEH化を行った消費者の家族構成・年代、改修のきっかけ

0文字

事例③ 取組内容

以下の要素を含めてご回答ください：改修範囲・内容（断熱材、窓、冷暖房、照明、給湯等）、改修後の環境性能（断熱性能、BEI）、ZEH水準の改修を行った理由（可能であれば、補助金等の金銭的支援以外の理由）、ZEH水準の改修を消費者に勧めるために貴社が取り組んだこと

0文字

Q3.

改修ZEH+化（断熱等性能等級6、30%省エネ、太陽光パネルは設置・未設置のどちらでも可）について、

Q2と比較した場合の課題（特に断熱等性能等級を1段階上げることや、省エネ性能を10%高めることに対する技術的課題の有無）や適した住宅条件・取組内容があればご回答ください。

特に無い場合は〔無し〕とご回答ください。

*

0文字

Q4.

Q2, Q3で示した課題のほかに、改修ZEH／ZEH+化における課題があればご回答ください。

特に無い場合は〔無し〕とご回答ください。

*

0文字

Q5.

消費者が中古住宅を購入した際に合わせて改修を行えば仮住まい確保が不要になること、部分改修（使用する空間に限った改修）であれば居住者の使用実態に合わせてコストを抑えた改修が可能なこと等を、これまでの事例から把握しておりますが、これらの取組に対して改修実務の観点での課題があればご回答ください。

また、これらの取組以外にも改修ZEH化を推進するための取組があればご回答ください。

*

0文字

Q6. 改修ZEH化施策へのご意見があればご回答ください。

特に無い場合は〔無し〕とご回答ください。

*

0文字

設問は以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

以下の「送信」ボタンを押すと、恐れ入りますが、入力画面に戻ることや回答内容を確認することができません。

回答内容をご確認いただいた上で、「送信」していただけますと幸いです。

本調査に係るご質問は株式会社野村総合研究所【2025zeh-qa@nri.co.jp】までご連絡ください。

送信

送信